福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：356

立ち上がる際にブレーキのロックが解除され転倒しそうになる

場面の説明

歩行車から立ち上がろうとして腰がブレーキにあたり、ロックが解除され、ふらつき転倒しそうになった



利用シーン	立ち座り
主な利用場所	その他
介護保険の種目	歩行器
分類コード (CCTA95)	120606 (歩行車)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

歩行車で座って休憩した後、立ち上がろうとして腰がブレーキにあたり、ロックが解除されてふらついてしまった事例です。歩行器の幅が狭い場合や、利用者がふくよかな場合、冬季で着ぶくれている場合などに、ブレーキレバーに引っかかりやすくなります。利用者がブレーキが外れる可能性を理解した上で、慎重に動作をする習慣が必要です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：歩行車の幅が狭く、腰がブレーキに触ってしまった
人：リスクを予測して選定できなかった
モノ：歩行車の幅が狭く、ブレーキレバーが引っ掛かりやすい
管理：導入の際の使用上の注意喚起が不十分だった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.